

令和7年度 学校評価報告書(松山市教育委員会統一様式)

学校番号	
小	140

【評定】 4:とても思う(あてはまる) 3:やや思う(あてはまる)
2:あまり思わない(あてはまらない) 1:全く思わない(あてはまらない)

松山市立 さくら小 学校

【総合判定】 A:肯定率の平均が90%以上
B:肯定率の平均が60%以上90%未満
C:肯定率の平均が60%未満

学校長 大砂 直樹

※ 肯定率とは、評定(%)の評定4と評定3の合計値です。 ※ 色が付いているセルのみ入力してください。

評価領域	評価指標	総合判定	対象	肯定率	評定(%)				評定平均	○成果 もしくは ◆改善策
					4	3	2	1		
教育課程・学習指導	学校は、松山の授業モデルをもとに、一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できる授業を行っている。	A	教職員	100	54	46	0	0	3.5	○「さくらの授業モデル」を基に協働的・対話的な学びの充実を図ったことで、主体的に学ぶ児童が増えてきた。 ◆個に応じた指導を進め、学力の定着を図る。 ○タブレット端末を有効に利用した授業づくりを進めている。「ICTミニ研修」を行い、教員間でICT機器有効な利用方法について情報交換をし、スキルを高めてきた。 ◆「家庭学習の手引き」を基に、学習時間や取り組み方について指導を進めた。基礎的な学力を定着させるために、今後も学校と家庭が協力して個に応じた取り組みを進める。 ○生活科や総合的な学習の時間を利用した地域学習を進め、さくらのよさが感じられる活動を行った。校区を大切にしたいと思う気持ちが高まってきている。
			学校関係者	85	25	60	12	2	3.1	
	学校は、教科等の指導においてアナログとデジタルそれぞれのよさを適切に生かした授業改善に取り組んでいる。	A	教職員	97	46	51	3	0	3.4	
			学校関係者	99	53	46	1	0	3.5	
	学校は、児童生徒の学力や体力の状況を把握し、それらの充実に向け計画的に指導を行っている。	B	教職員	97	54	43	3	0	3.5	
			学校関係者	81	33	48	17	2	3.1	
学校は、地域に根ざした教育を行い、郷土を大切に思う児童生徒の育成に努めている。	A	教職員	95	24	70	5	0	3.2		
		学校関係者	98	48	50	1	0	3.5		
人権・同和教育・生徒指導	学校は、人権・同和教育の視点到に立ち、いじめや差別を許さない意識や態度を育てている。	A	教職員	100	68	32	0	0	3.7	○道徳をはじめとするすべての学習、学校生活全般の中で差別を許さない意識を高めてきた。人権・同和教育参観日を通して保護者への啓発も行った。 ○生徒指導部を中心として、子供・保護者に寄り添った温かい生徒指導に務めた。全教職員が共通理解を図り、全体指導や個別指導を行う体制が整っている。
			学校関係者	97	47	50	2	0	3.4	
	学校は、「学校のきまり」など生徒指導体制の見直しを行い、児童生徒の実態に応じた適切な指導を行っている。	A	教職員	97	43	54	3	0	3.4	
			学校関係者	100	67	33	0	0	3.7	
キャリア教育	学校は、将来に夢をもち、自分の進路や生き方について考える児童生徒を育てている。	B	教職員	97	19	78	3	0	3.2	○外部講師を活用した授業を進め、将来の夢や希望に対する意識を高めた。 ◆学校での学びを自分の生き方につなげていけるよう、学校と家庭の連携を進める。
			学校関係者	68	23	45	28	4	2.9	
安全管理	学校は、児童生徒に交通安全やけが等の防止について適切な指導を行うとともに、安全な環境づくりに努めている。	A	教職員	97	62	35	3	0	3.6	○校内安全点検を徹底するとともに、安全な行動について、児童への指導を進めてきた。 ◆校区内の状況に合った、具体的な指導を継続する。
			学校関係者	99	52	47	1	0	3.5	
保健管理	学校は、家庭と連携して個々の健康状態を確認するとともに、環境衛生の維持・改善を行い、児童生徒の健康保持・増進に努めている。	A	教職員	100	59	41	0	0	3.6	○tetoruを利用した欠席理由の確認、電話連絡等で健康状態を把握した。保健だよりや学校保健委員会等で基本的な生活の定着について家庭に啓発し、意識を高めた。 ○保健委員会の活動を通して、換気や手洗いの呼び掛け、子供の意識を高めてきた。子供の管理能力を高める活動をこれからも進めていきたい。
			学校関係者	86	38	48	12	3	3.2	
	学校は、換気や手衛生などの基本的な感染症対策を行っている。	A	教職員	98	53	45	2	0	3.5	
			学校関係者	97	62	35	3	0	3.6	
特別支援教育	学校は、特別支援教育の視点をもって取り組み、個に応じた配慮や指導を適切に行っている。	A	教職員	95	35	59	5	0	3.3	○配慮を要する児童について全教職員で共通理解を図り、対応している。今後も子供に寄り添い、受容的な態度で接するようになっていく。
			学校関係者	97	52	45	2	0	3.5	
組織運営	学校は、管理職や学年主任等を中心とした組織的な対応を行っている。	A	教職員	100	76	24	0	0	3.8	○管理職・学年主任が情報共有をし、全教職員が共通意識を持って学校運営に携わった。今後も組織的な対応を行いたい。
			学校関係者	100	100	0	0	0	4.0	
研修	学校は、子どもたち一人一人が分かる授業づくりや、様々な教育課題への対応に向けて、積極的に研修に取り組んでいる。	A	教職員	100	68	32	0	0	3.7	○「さくらの授業モデル」を基に授業改善を行った。どの教科でも子供にとって分かりやすい授業を目指して研修を重ねている。
			学校関係者	100	83	17	0	0	3.8	
保護者・地域との連携・情報提供	学校は、教育活動の充実に向けて地域や保護者と連携・協力している。	A	教職員	97	38	59	3	0	3.4	○文科系コミュニティ・スクールへの移行に向けて、地域の方々との協力体制も進んできている。学習や行事など地域の方々から積極的に協力して下さっている。 ○ホームページや学年だよりを通して児童の様子を積極的に発信した。今後も学校の考え方や教育活動の様子を積極的に発信していく。
			学校関係者	99	48	51	1	0	3.5	
	学校は、学校・学年だよりやホームページ、配信システム等により、積極的に情報を発信している。	A	教職員	100	78	22	0	0	3.8	
			学校関係者	100	67	33	0	0	3.7	
教育環境	学校は、言語活動の充実及び展掲示の工夫等の環境整備に努めている。	A	教職員	100	57	43	0	0	3.6	○研修部からの提案に沿って、視覚的に捉えられるような掲示を工夫してきた。また、話合いの進め方についてもカードを作成して活用してきたことで、質が高まってきた。
			学校関係者	99	58	41	0	0	3.6	
幼保小中連携	学校は、小1プロブレムや中1ギャップの解消につなげるために関係園・校で連携し、児童生徒の学校生活に対する不安感の軽減を図っている。	A	教職員	100	27	73	0	0	3.3	○参集型の情報交換の場を設定し、児童理解を進めた上で指導に当たってきた。 ◆生活科や総合的な学習の時間を利用して関係園・校での交流を図りたい。 ○生徒指導面、学習面等の情報交換を適宜行い連携を図っている。 ◆今後も関係園・校の参観などを計画し、情報交換を行う場を設けたい。
			学校関係者	100	33	67	0	0	3.3	
	学校は、関係園・校で連携して児童生徒への理解を促進するとともに、系統性を重視した学習指導を行っている。	A	教職員	97	38	59	3	0	3.4	
			学校関係者	100	33	67	0	0	3.3	

← ここに、学校番号を数字入力してください。(例：番町小 101、拓南中 201)

この列から下は、印刷されません！！
評定入力、全てOKになっていますか？

▲ もし、【再度確認】が表示されましたら、再入力です。
 左表の評定4・3・2・1の入力確認 ⇒ 訂正を！！

総合判定 肯定率(教職員+学校関係者)/2	対象	評定CHECK 入力合計	評定入力 1から4の合計が100%か？
92.6	教職員	100	OK
	学校関係者	100	OK
98.0	教職員	100	OK
	学校関係者	100	OK
89.2	教職員	100	OK
	学校関係者	100	OK
96.4	教職員	100	OK
	学校関係者	100	OK
98.6	教職員	100	OK
	学校関係者	100	OK
98.6	教職員	100	OK
	学校関係者	100	OK
82.6	教職員	100	OK
	学校関係者	100	OK
98.2	教職員	100	OK
	学校関係者	100	OK
92.8	教職員	100	OK
	学校関係者	100	OK
97.7	教職員	100	OK
	学校関係者	100	OK
96.0	教職員	100	OK
	学校関係者	100	OK
100.0	教職員	100	OK
	学校関係者	100	OK
100.0	教職員	100	OK
	学校関係者	100	OK
98.1	教職員	100	OK
	学校関係者	100	OK
99.8	教職員	100	OK
	学校関係者	100	OK
99.6	教職員	100	OK
	学校関係者	100	OK
100.0	教職員	100	OK
	学校関係者	100	OK
98.6	教職員	100	OK
	学校関係者	100	OK